



SAIJO LIONS CLUB

西条

No.499
2018-2019
12月号

わたしたちは、社会に奉仕する世界最大の団体です



8年ぶりの優勝旗と共に満面の笑みで「1番」のポーズ !!

会長スローガン [一緒に 懸命に WE SERVE]

キーワード [共 生]

ライオンズクラブ国際協会 336-A地区
2R4Z 西条ライオンズクラブ会報誌
活動内容はこちらから →





テーマ 「 We Serve 」



2018-2019 年度 336-A地区

スローガン 「 Service Activity is the key to Lions Clubs 」
(ライオンズクラブのキーは奉仕することである)



キーワード 「 No try No change ! 」

新居浜別子ライオンズクラブ`結成**30**周年記念式典出席報告

幹事 瀬川寛清

去る11月10日(土)「新居浜別子ライオンズクラブ結成30周年記念式典」が新居浜市グラツェふじにて開催されました。当クラブから森下会長、寺川会計、徳増年次大会委員長、私、幹事の瀬川が出席しました。

式典は、新居浜市長を始め沢山の来賓の方が出席され、華やかな中にも厳粛な雰囲気の中で式典が進められ、表彰式や記念事業の報告があり、9月16日(日)に全盲の高校生シンガーソングライター佐藤ひかりさんのチャリティコンサートが、あかがねミュージアムにて開催され、沢山の方がお越しになり、奇跡の歌声と称される彼女の歌声に観客の皆様が癒やされたとの報告がありました。

その後、祝賀会においては、来賓として徳増年次大会委員長が祝辞を述べられ、来春の年次大会についてご報告されました。

祝賀会が進みいよいよ楽しみにしておりました抽選会が始まりました。驚くことがおきました、沢山の出席者がおられるにも関わらず、当クラブ出席メンバー4人中3人に賞品が当たるという奇跡がおき、大変楽しい祝賀会になりました。

最後になりましたが、新居浜別子ライオンズクラブ様の益々のご発展を御祈念申し上げます。



薬物乱用防止教育認定講師養成講座を受講して

環境保全・保健福祉委員会 伊藤修一郎



薬物乱用は ダメ。ゼッタイ。

「正しい知識」と「断る勇氣」

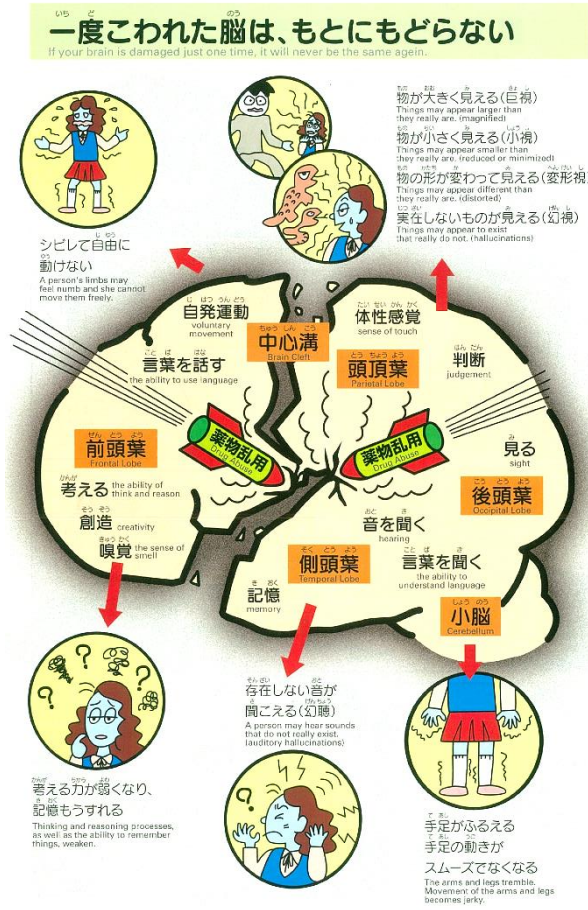
秋も紅葉が深まった中、11月25日(日)今治ケーオーホテルにて、1リジョンより30名、2リジョンより47名、3リジョンより13名が一堂に会し、受講しました。

今年度から1年毎のリジョン持ち回りになったそうで、今年は2リジョンが主宰にて開催されました。DVD講座、基礎講座、実践講座、専門講座(行政事務1)、専門講座(行政事務2)、専門講座(行政事務3)について5名の講師による愛媛県の現状、薬物の種類や性質、医学的な解説、教育現場や行政の取り組み、問題点等を3時間30分にわたり学びました。薬物として覚せい剤、大麻、麻薬、合成麻薬(コカイン、LSD、MDA、MDMA)、向精神薬(シンナー)、危険ドラッグ、これら薬物を1度でも使用した場合、薬物依存症になります。治ったと思われても自分だけの問題とせず、周囲の人にも協力をもらい、良くなる環境を作り、息の長い支援をもらわないといけません。

そうならない為には、知識をもち、危険薬物には関わらないのが一番！

他人事のように考えていましたが、勉強する機会を与えていただき大変有意義な時間を過ごしました。私も自分自身、がんばって指導していきたいと思っています。

ありがとうございました。





第46回2リジョン親善スポーツ大会 参加報告

スポーツ委員会委員長 植木光夫

11月3日、恒例の2リジョンスポーツ大会が開催されました。

Aチームは8年前の優勝以来、打倒「今治東」に燃え、Bチームの目標は何とか1勝を、あわよくば予選通過を狙います。Aチームは、かなり苦しい予選をなんとか勝ち抜き、グループ2位で予選突破しましたが、Bチームは目標の1勝はしたものの、予選通過にはあと一歩およびませんでした。決勝トーナメントに進んだAチームは予選とは打って変わって順当に勝ち上がり、いよいよ今治東Aとの因縁の対決でしたが、2セット連取で8年ぶりの優勝を飾りました。

奇しくも、8年前、優勝に感極まったのは今期、ガバナー関野邦夫氏が2リジョンチェアパーソン就任の年でした。そして、初めから今年は勝ちあがれないだろうと諦めムード漂う中、勝利を重ね勝ち得た「優勝」の今年、関野邦夫氏は336A地区のガバナーに就任されているという、奇遇さに不思議な縁を実感しつつ、「無欲の勝利」にしばし1日の労を労いあいました。

Aチーム、Bチーム、そして応援の皆さん大変お疲れ様でした。

優勝



《 おまけ 》

下の2枚は、第38回スポーツ大会にて優勝した時の写真です。
今から8年前です。時の流れを感じますね・・・





「ある愛の詩」

S・T

13歳から17歳のあいだ、洋画好きの友達の影響でスクリーンという月刊誌を片手に週末ごとに映画館に通っていた時のことを、今回の原稿を書くにあたって久しぶりに思い出した。当時は封切館と少し古い映画を2本か3本セットで上映していた2番館があり、銀映という大街道近くにあった2番館がお決まりの映画館だった。

今思えば何てことない内容だが、当時としては少し背伸びをしたように思えた恋愛映画が懐かしく思える。

「ロミオとジュリエット」のオリビア ハッセー、「小さな恋のメロディ」のトレーシー ハイド「ひまわり」のソフィア ローレンにも胸をときめかせた。

その中でも一番のお気に入りにはアリー・マッグローとライアン・オニールの「ある愛の詩」

あらすじはお決まりのお金持ちの男性と貧乏な女性の恋愛、

両親の反対を押し切って幸せに暮らすものの、女性が白血病になってあっけなく死んでしまう。最後に和解した両親との会話の中でフランシス レイの音楽にのって

love means never having to say you are sorry 愛とは決して後悔しないこととつぶやき the end

もう一回DVDを借りて見てみようか。



[キャスト]

ジェニー	アリー・マッグロー
オリバー・バレット4世	ライアン・オニール
フィル(ジェニファーの父)	ジョン・マーリー
オリバー・バレット3世	レイ・ミランド

[作品紹介]

富豪の息子と庶民の娘との悲恋物語。

裕福で代々ハーバード大学出身という家柄であるオリバーは、家柄違いのラドクリフ大学(ハーバード大学関連の女子大学)のジェニーと恋に落ち、オリバーの父親の反対を押し切り結婚する。

2人が24歳になったある日、ジェニーの命が白血病で残り少ないことが判明し闘病生活に入る。オリバーは高額な医療費を自分の父親に求めるが、彼女の病状は好転せず亡くなってしまふ。

オリバーと和解した父親との短い会話の中で「愛とは決して後悔しないこと」(Love means never having to say you're sorry)という生前ジェニーがオリバーに残した言葉をオリバーが語り、オリバーは2人の思い出の場所に行き、その場所を眺める。



おとこの買いもの

越智英明

定期購読している雑誌に、「リンボウ先生のおとこの買いもの」なる連載中の記事があります。リンボウ先生こと林望（はやしのぞむ）先生は国文学者で作家でもあります。今迄に買った品物が毎号で紹介されるわけですが、その品物たるや、多種多様でユニークで、先生独自のこだわりが見うけられます。

その何回目かに「旅先での買物の楽しみ」という記事があります。

先生いわく、私はへそ曲がりだから、観光地などという所は立ち寄らないし、みやげ物屋というような、たたずまいの店には一切近寄らないことにしている、とあります。それではどこで買いものをするのかというと、何でもないような田舎町の地元商店街などを漠然と歩きまわるのが面白く、そういう所での買いものは、誰の為のものでもなく、自分の為の買いものであるということです。

そして、その品物たるや、どこにでも売っている様なものでない、ものです。

例えば、九州の阿蘇のふもとあたりの町を歩いていた時は、とある洋品店の店先に、背中に大きな龍のししゅうのある作務衣を発見し、直ちに買い求め、また奈良の古い商店街をブラついていたら、ネパール製の外とうを見つけ、着てみたらピッタリだったので、さっそく買ってそのまま着て歩いたという。自分の顔にとってもよく似合ったそうです。

その他、自動車、ギター、時計、古いトランク、英国製のセーターなど、変わったところで禁煙マークのついたうちわ（100 本位まとめ買いして、喫煙者にプレゼント）などがあります。

私も旅先での買いものは楽しみの1つですが、いわゆる「おみやげ」さえ買わなかったらどんなにか気楽な旅かと、常に感じています。

最近は極力自分中心につとめています。先生の記事を読むにつけ、私の買いものに対する思いも少し変化した様に思います。

さて、今回はどんな買いものなのか、とても楽しみです。

編集後記



頬に感じる風の冷たさに肩をすくめ、ポケットに手を突っ込む自分の姿に、あとひと月で今年も終わるんだなと実感します。メディアでも今年を振り返るようなニュース番組やこの時期ならではのエンターテイメント番組が見られ、なんとなく慌しく毎日を過ごしてしまいます。新しい年には「平成」から次の元号になり、気持ちも新たになるでしょう。

しかし、今年、多くの災害に平穏な日常を奪われた方々がいることも忘れてはなりません。ライオンズクラブは奉仕をする団体です。風化されがちな被災地の復興支援だけでなく、人の心に寄り添うこともまた、ひとつの奉仕と言えます。

『なにが大事？あなたは？』このフレーズは、西条ライオンズクラブ結成40周年の年の大会スローガンの一文です。58代森下会長の下、半期を終えようとしています。

今一度、原点に、初心を顧みる・・・、前へ進むためには大切なことかと考える師走はじまりです。

MC・広報委員会委員 日吉洋二

西条ライオンズクラブ

発行者	会長	森下雄一
	幹事	瀬川寛清
PR・広報委員長		武智正人
編集委員		村瀬文隆・越智英明・藤田公道
		日吉洋二・盛實正人・曾我部克正
例会日		毎月 第1・第3火曜日 (12:30~13:30)
例会場		西条商工会館
発行		西条ライオンズクラブ事務局
印刷		プリントワールド ONO

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8
西条商工会館3F

TEL(0897)56-3980

FAX(0897)56-9251

E-mail saijo-1c@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ <http://saijo-lions.jp>

facebook <http://facebook.com/saijo.lions/>